

和木小学校コミュニティスクールだより

# 緑の風

<http://www.sky.icn-tv.ne.jp/~wakisho/>

校訓 道を行くに誠実をもってせよ

令和6年・11月号

E-mail [wakisyo@sky.icn-tv.ne.jp](mailto:wakisyo@sky.icn-tv.ne.jp)

## ぼくたち、わたしたちの 和木小応援歌「希望のバトン」完成！

校長 河 口 龍 裕

150周年記念事業としてPTA役員さんが中心となって、昨年度から企画・準備を進められてこの度、「和木小学校応援歌」が完成しました。10月10日には、児童へのお披露目と練習の会が開催されました。指導者として、この曲の作曲者であり、本校の卒業生でもある善岡慧一さんをお迎えしました。善岡さんは、音楽グループの「Official髭男dism」のサポートメンバーとして活躍されている中、子どもたちの思いをくみ取りながらこの応援歌を作曲してくださいました。歌詞には、昨年度の在校生が和木小学校や和木町から連想する言葉や、開校150周年を迎えた和木小がこれからどのように未来に伸びてほしいかなどを考えて集めた言葉が織り込まれています。

会の当日は、まず、応援歌の曲名発表から始まりました。各クラスで考えた題名の中から児童、教職員、実行委員が投票して決まった題名は、「希望のバトン」です。

善岡さんは、歌唱指導の中で「これからの人生でつらいこともあるかもしれないけれど、前向きに頑張っていこうと思えるハーモニーにしたいと考え作った。」と作曲中の気持ちやメッセージを子どもたちに伝えてくださいました。その気持ちを受け取った子どもたちは、善岡さんの伴奏に合わせて美しく力強い歌声を体育館いっぱいに響かせていました。

歌唱指導に続いての講演会では、善岡さんがピアノを始めたきっかけについて語ってくださいたり、自分の思いに正直にやってみようと思ったことをとことんやり抜いてほしいと、子どもたちの背中を押してくださいしたりしました。子どもたちは、音楽業界で活躍されている先輩の言葉に目を輝かせて聞き入っていました。

11月30日の記念式典では、来校された保護者、地域の皆様に児童の力一杯の歌声で和木小応援歌「希望のバトン」をご披露いたします。裏面に式典当日の日程を掲載しておりますのでお誘い合わせの上、式典及び、午後に開催します児童会企画「未来につながる笑顔と希望の150祭(さい)」にどうぞご来場ください。



### 交通事故に注意・帰宅時刻を守ろう

日没が早くなってきました。学校生活のきまりでは、冬場の帰宅時刻を17時としております。ご家庭におきましても今一度、帰宅時刻と交通安全について話題にいただき、事故が多く発生する夕刻時への注意喚起を行っていただけたらと思います。

#### 小学生の交通事故の多い場面

時 刻：16～18時 状 況：低学年は歩行中、高学年は自転車乗車中

場 所：50%が交差点

自転車事故の状況：飛び出し、出会い頭の事故、ハンドルブレーキ操作ミス

歩行中の事故の状況：横断歩道を横断中、飛び出し

